

# 「野の花の丘便り」 8月下旬

## 短い夏は終わったようです

8月も下旬となり、すっかり秋の風情がただよい始めました。周りを見わたして見ますと、クリ、ハマナス、トチノキなど実を付け出し、コオロギも鳴き始めています。

厄介者のセイタカアワダチソウの黄色い花が目立ち始めました。今年もまたセイタカアワダチソウとのいたちごっこです。夏を彩った赤色のヤナギラン、紫色のエゾクガイソウなどの華やかな色の花に変わって、オミナエシ、ハンゴンソウ、キンミスヒキ、ヤマハハコなど地味な黄色や白い花が目立ってきました。

今年はおミナエシ（女郎花）が目立ちます。女性には負けじとおトコエシ（男郎花）も頑張って勢力を拡大して来ています。一方では菊の仲間のエゾノコンギク、エゾゴマナ、ユウゼンギクも花をつけ出しました。また、秋を代表するススキも大きく成長しています。

短い夏は終わり、寂しいけどいよいよ秋本番です。

## 頑張っているオミナエシと 頑張れオトコエシ



## 秋の風情のススキと 厄介者のセイタカアワダチソウ

